



今日のセミナーと関係が無い ホルスタインのクイズ



正解

1. 生乳の生産量の多い国のうち、ホルスタインの飼育頭数が最も多いのは、どの国ですか？

ホルスタインは、オランダ・ドイツの冷涼な地域が原産地

2. 新乳牛の飼育頭数は、どのくらい増えていますか？

地球温暖化が進むと

小岩井農場で

3. 小岩井農場で飼育しているホルスタインの飼育頭数は、どのくらい減っていますか？

ホルスタインが飼えなくなる！

4. 牛の胃は4つ。そのうち、どの胃の大きさが最も大きいですか？

① 50リットル ② 100リットル ③ 200リットル

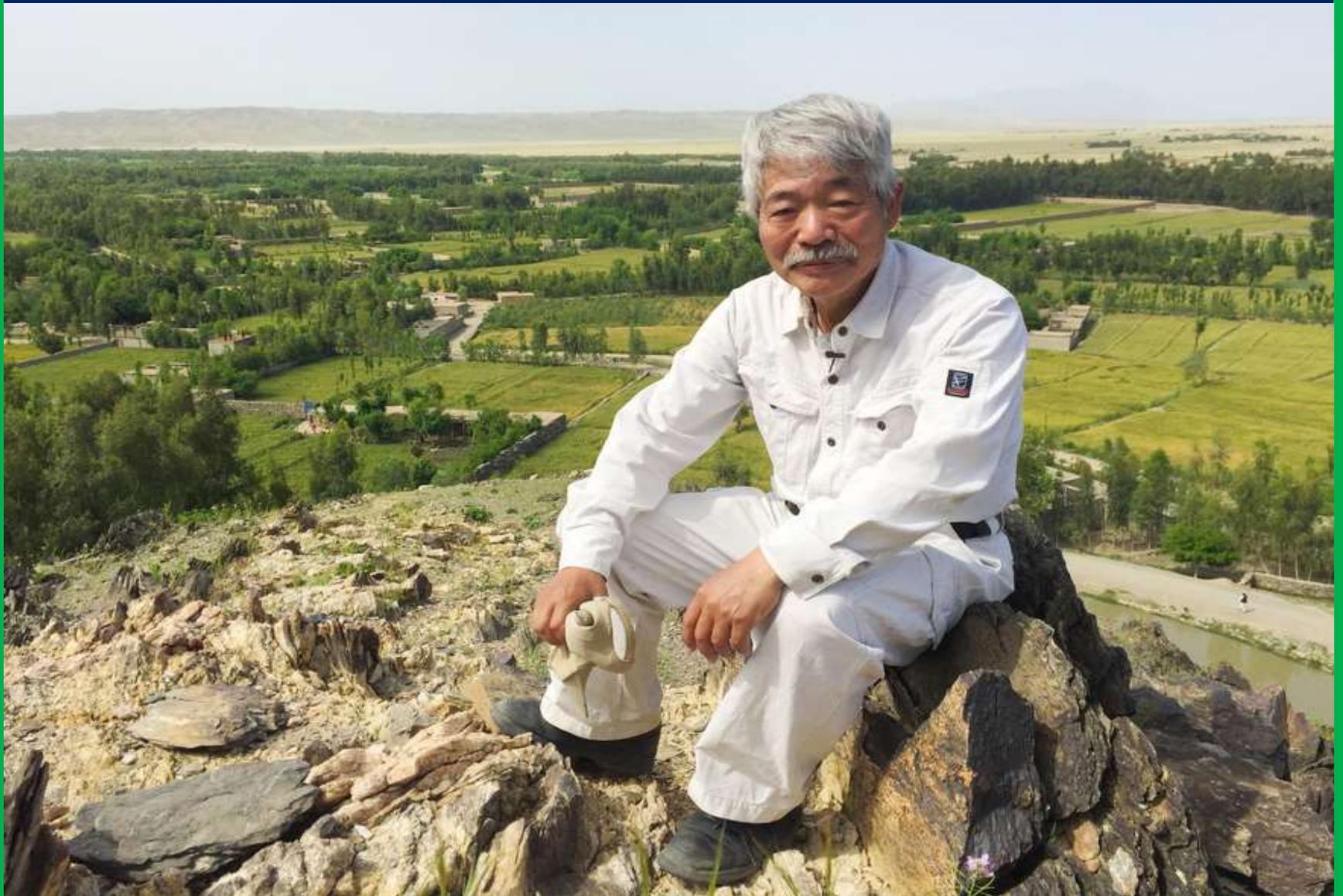
3

2

3

3

中村哲医師 2019年12月4日銃撃され
アフガニスタン・ジャララバードにて逝去（享年73歳）



2000年以来大旱魃・穀倉地帯が壊滅 貧困 飢餓 病気そして 60万人以上が離散



畑と水田が甦る（日本古来の工法）

灌漑水路総延長 191km（石積み工・蛇籠工・粗朶柵工・植生工）



水による豊かな大地・多くの雇用と食糧を 支援が無くても自立可能に



水路着工から20年・16,500haの農地を回復
雇用・食糧・水・・・離散した60万人の人たちが戻る

Q2池

P池

100の診療所より1本の用水路を
だれ一人置き去りにしない・・・SDGs



COP21（パリ協定）の約束

2015年12月

地球温暖化抑制に新ルール

- ◎ 産業革命からの気温上昇を 2°C 未満に抑える
 1.5°C 未満を目指すこと

8月10日、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）

緊急警告 2050年までの削減計画では

2040年までに 1.5°C を超える

- ◎ 全ての国が化石燃料に頼らない
「脱炭素社会」を目指す仕組みを作ること
* 「化石燃料ゼロ」への社会改革

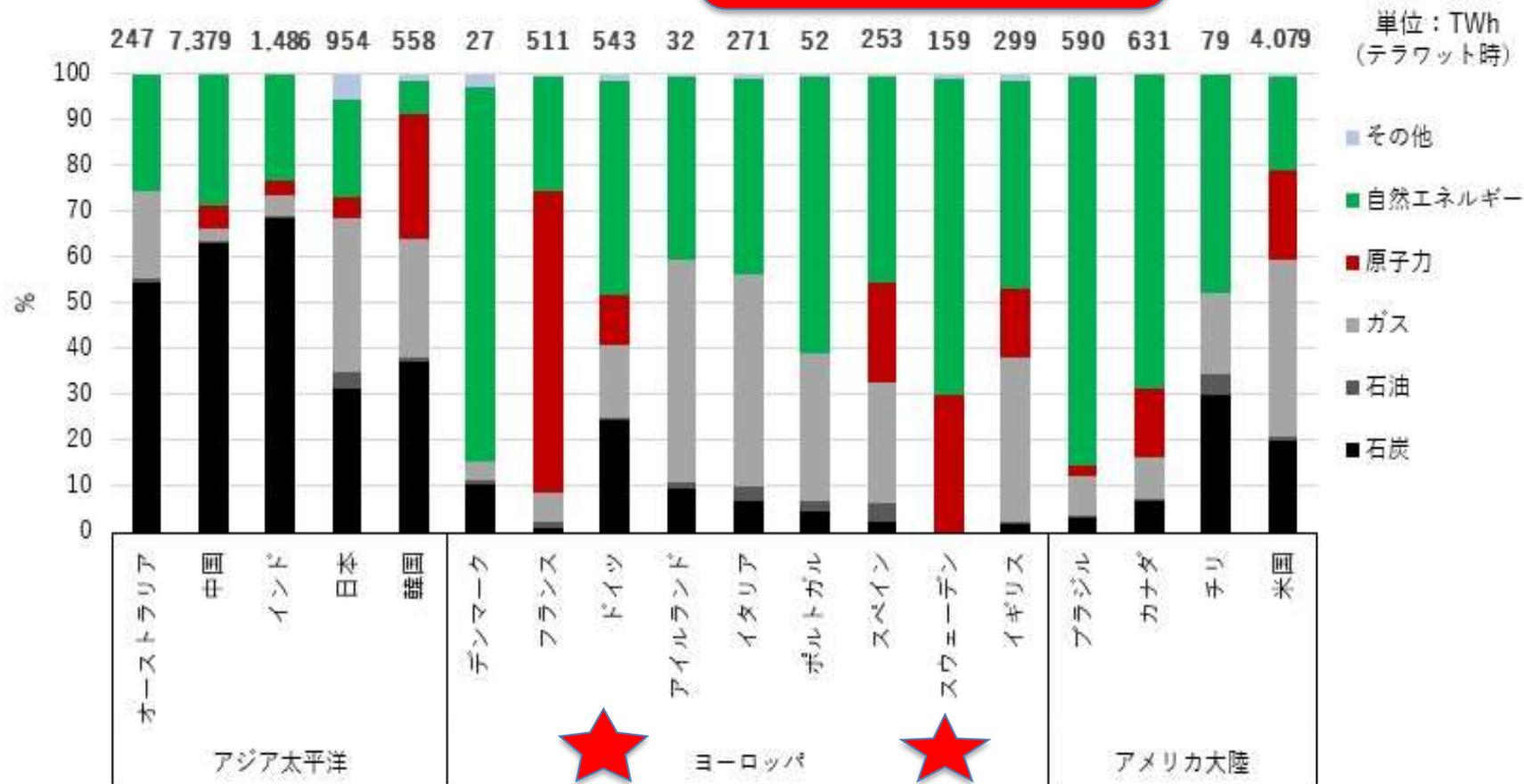
と

世界18か国の電源構成 2020年

<2020年、世界18カ国>

更新日：2021年3月31日

フィンランド 100%
ウルグアイ 97%
ノルウエー 98%





「車社会」・・・世界の環境先進国の取り組み ガソリン・ディーゼルエンジン車 ハイブリッド車含め製造・販売禁止決議



岩手県交通電気バス
(中国製 BYD K9)

つる
産がトヨタを超えた)
国 2035年に繰り上げ
スペイン
!!

2035年
G禁止⇒HV

G & D 2030年
HV 2035年禁止

(日本は2035年ころまでに、ガソリン車規制・HV容認)

次に乗り換える車は、電気・水素
バイオ燃料 (BDF・E)

自動車からエンジンが消える

達増知事表明

「2050年までに温室効果ガス実質ゼロ」

2019年（令和元年）11月28日（木曜日） 総合（4）

本県 温室ガスゼロ目標



県によると、実質ゼロ目標は東京都や大阪府、山梨県、徳島県で設定しているが、東北では初めて。具体

知事「50年までに」

災害踏まえ対策に本腰

策はこれからのが、省エネやエコドライブ、再生可能エネルギー、化石燃料に代わる水素活用の普及や森林整備による吸収強化などを想定する。

本県における16年度の温室効果ガス排出量は1397万2千トンを上回り、野心的な削減を促す。省エネや節電など従来の対策の延長線上だけでは達成できない。低炭素技術の積極導入や県民の意識と行動を大幅に変える取り組みが求められる」と指摘する。

本県の温室効果ガスの排出量について「2050年までに実質ゼロ」を自己指すと表明した。相次ぐ大規模災害を踏まえ、地球温暖化対策に本腰を入れる。今後策定する県環境基本計画（21～30年度）に位置づけて具体策を推進するが、現状は年1千万トンを超えており、達成のハードルは高い。【関連記事30面】

来月にはスペインで気候変動枠組み条約第25回締約国会議（COP25）があり、各国の対応が注目される。達増知事は27日の記者会見で「地方自治体から温室

EU

「炭素国境調整措置」
バイデン大統領
「国境炭素調整賦課金」公約
(努力不足の国からの輸入に課税)

岩手県 次期温暖化対策計画
2030年目標 再エネ電力自給

65%

(地域資本で達成が肝要)

新政権・菅首相所信表明 温室効果ガス・2050年ゼロ宣言

温室効果ガスゼロ **(化石燃料ゼロ)**

産業革命以来の化石燃料による豊かさから

2050年までに変換

これでは遅い！！

小手先では変えられない

エネルギー革命・政治革命・経済革命・社会革命

行政・企業・電力・エネルギー関係

研究者・大学・市民・NPOなどパートナーシップで..

早く取り組めば、大きなビジネス

遅れれば、他の後塵を仰ぎ衰退

私たちが出来る事

家庭で取り組める再エネと省エネ

(今の利益から・・・将来の利益の為に)

1. 屋根の上のソーラーパネル発電 (試算)

設置費用 約150万円/4kwh

10年間での発電量 約5万kwh

月間電力300kwh以上の家庭

@30.57円/kwh 153万円(10年で回収)

2. 家の高断熱化による冷暖房費低減

早い投資で後々のコスト削減

(断熱が悪いと熱が外へ逃げて大きな無駄)

* ドイツでは、毎年約2%の住宅を断熱工事

2050年までに全戸高断熱化を達成

大きな省エネで経済効果

3. ごみ焼却炉を無くす

・燃えるゴミ・・・地域熱供給 ・燃えないゴミ・・・バイオガス



グレタ・トゥーンベリさん

COP24 (ポーランド)・COP25 (マドリード) で講演
(課題を自分たち世代に先送りする世界の指導者を叱責)



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを





One Planet Lifestyle 地球1個分の暮らしを！

• 現在の日本の消費構造では、

• 日本

• 食品

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

食品工場・レストラン 340万トン
 (日本にも貧困者・約2000人の餓死者)